

都会のトム&ソーヤ

井上 来美

私は都会のトム&ソーヤを友達からゲーム
 の本だよと紹介されてどんなゲームか気に
 なったので読みました。
 トムは、店に入って歩道を歩いていたソー
 ヤを見つけたました。トムはソーヤを追いか
 けました。ソーヤは細い路地に入って行
 きました。そこかゲームが始まりました。毘
 り糸が床に張られていた。セメントの粉
 などが散らばっていた。トムは、全部
 毘があるという所をクリアしていきまし
 た。その毘をしかけたソーヤの場所へ行
 きました。その部屋へ入った。トムは、ソ
 フアにすわった。瞬間、ソーヤの音が聞
 こえました。その毘が2つあるというこ
 ともしかけて、毘は、3つあつました。

かッました。一番心に残ったことは、毘は、
2つあるというところがしかなかった。たといふこ
とです、そんなしかけは、あまりうかばない
のです。ごいと思ひました。
私はこんな面白いゲームがあればいいなと
思いました。でもこんなしかけもつくれない
し、そんなゲームをクリアすることほできな
いと思ひます。
ゲームをしているというお話を読むと、ワ
クワクワして楽しい気分になりました。
トムは、2つの毘をクリアしたといふこと
がすごいと思ひましたし、ソイヤはとかけた毘が
すごいと思ひました。
トムとソイヤの対戦。ぼいゲームはとても
面白いお話でした。

都

明里

この本の主な登場人物は、内藤内人、
 状況でも生還できる無敵のサバイバー。
 う一人は、竜王創也。わが校はじまって以来
 の天才にして、美形でワイコンレツドの眼鏡つ
 しいムがキザな内藤内人と同級生です。
 は、トムソーヤと言われている。他の登場
 人物は、幕井涼太、金田竜二、中山明、太田
 （先生）、二階堂卓也さんです。

話は、トムソーヤが、幕井涼太と金田竜
 二、中山明のう人の映画好きが、自主制作映
 画コンテストに出すフィルムを出しわすれ、
 トムソーヤがマラソン大会をぬけ、先生に
 見つからないようにフィルムを出しに行き、
 もどつてくるときまにあわないかもしれない
 ので、高いコンクリートのかべの上のところ
 どころに木かほえた急し、面の土手をトム
 のもつていたタオルをトムがあさ玉のナイフ
 で細く切りつなげて枝にまさつけ、コンク

かいぞう文庫

リートをのぼって、土手をのぼっていった。
土手をのぼっている中、リイヤがけをし
トムがスケボーを作り、トムとリイヤかのり
すすんだが、ブリーキをつけるのをわすれて
しまった。ブリーキのないスケボーの前に、
車が止まり、中から卓也さんというリイヤの
警護している人がでてきて、トムとリイヤを
止めた。リイヤと話したあと、リイヤを病院
につれていった。マリン大会のあと、涼汰
たちのフィルムは、第一次審査で落ちていた。

私かこの本を読んで見たのは、私がトム
だった。タオルを枝にまきつけてのぼるな
人でことは考えつかなかったし、考えつい
たとしても私だったら、枝が折れたらどうし
ようとか、いろいろ悪いことを考えこしまっ
てできないと思いましたが、無敵のサバイバ
だからこそ考えついたんじゃないかと思
いました。あと、マリン大会をぬけ出すなん
てこと私には絶対に来ないことだなと思
いました。トムはすごい人だなと思いました。

「アンネ・フランク」を読んで

畠中 美奈

アンネは、一九二九年六月、ドイツのフランクフルトで生まれました。アンネの母エーディットは、とてもやんちゃなアンネに困っていました。アンネは、いつも、姉マルゴーを見習うように言われていました。

しかし、父オットーは、マルゴーと同じに
なる必要はないと、アンネに言いました。

その後、ユダヤ人に対するドイツ軍の圧力が激しくなり、アンネたちは、かくれ家に入りました。みんなは、暗い話ばかりして、いるのに、何事にも明るく考えるアンネに対して、私はすごいなあと思いました。

しかし、一九四四年八月四日、アンネたちは、とうとうドイツ軍に見つかり、家族は離れ、これにされました。アンネと姉マルゴーは、絶滅収容所に送られました。

収容所の衛生状態は最悪で、アンネもマル
ゴーも病気にかかりました。自分も病気で、
つらいのに、なけなしのパンを姉にあげるア
ンネに私は強く心を打たれました。
しかし、とうとうマルゴーが死んでしま
うと、数日後にチフスによってアンネも七
才でしまいました。アンネ・フランク、十五
才のことでした。家族の中で生き残ったのは、
父オットーだけでした。

アンネは、生前、

「いやなことはかりあるけれど、人間の本
質はきつと善だ」ということを今でも信じてい
ます。」

という言葉をのこしていきます。

私は、これが苦しい時代を生きた少女の言
葉かと、とてもおどろきました。

世界には、今なお戦争をしている国があり
ます。一刻も早く、この世界から戦争がなく
なることを、私は強く願っています。きつと、
それは、アンネの願いでもあるはずですよ。

つかいぞう文庫